



田原まつり

は、八幡社・巴江神社の氏子のまつりで、八幡社は新町、神明社は本町・

神明社・巴江神社の氏子のまつりで、八幡社は新町、神明社は本町・

りて17日が本祭、神明社と巴江神社は17日が宵祭り、18日が本祭です。まつりは、昼間からくり人形を乗せた3台の山車や各町の神輿が街中を練り歩き、夜は着飾つ

江がそれぞれおまつりしています。八幡社の大祭は16日が宵祭り

た子どもたちや青年が夜山車の上で手踊りを披露します。まつりのファイナレを迎える18日夕方になると、はなのき広場で手筒・大筒花火が、そして午後8時からクライマックスを飾る打上花火が披露されます。

主役

となる豪華な屋台仕立ての昼山車は、新町・本町・萱町が1台ずつ保有しています。田原の山車は、宝暦7年(1797)8月に当時の本町

上がり町・横町・中町が申し合わせ、合同で田原藩の浅黄無紋の横幕・天幕を借用し車を仕立てたことが始まりといわれています。また、山車からくりは二層唐破風屋形四輪の名古屋型と呼ばれます。

の中世

に熱田と津

島の天王祭りに出された「大山」がそのルーツだといわれています。

愛・地球博の『愛

愛・地球博

の『愛

イク」と『田原市の日』にも出展された田原の山車。世界の注目を集めたその雄姿を、ぜひご覧ください。



ゴミは必ず持ち帰りましょう